車速感応ドアロック
取り付け解説書

TOYOTA シエンタ
NCP8#G系 2003.9～

REV1.00

はじめに

　このたびは当製品を御買い上げ頂きまことにありがとうございました。
製品は全て全機能をテスト後に出荷させて頂いておりますが､万が一不良品でありました場合速やかに代替品と交換させていただきますので､早急にご連絡頂きます様お願いします。但し、お客様の過失による破損と判断した場合は修理費と送料を頂戴いたしますのでご了承願います。なお、初期不良交換は商品到着後１ヶ月、保証期間は商品到着後１年とさせていただきます。

梱包内容

１．　車速感応ドアロックユニット　　１台
２．　取り付け解説書（本解説書）　　１部

各配線の説明

　製品からは９本の配線が出ています。使用している電線はAWG22（約0.33SQ相当）です。ワンタッチコネクターを使用する場合は適合電線をご確認ください。カー用品店等で購入できるエーモン㈱の配線コネクターM280（赤色）を推奨します。

黒　　(-) GND（車両アース）
赤　　(+) +12V IG電源
青　　(-) チャージランプ入力
桃　　(+) Ｐシフトポジション入力
茶　　(-) ドア開入力
白　　(+) 車速パルス入力
緑　　(-) ロック出力
水色　(-) アンロック出力
灰　　(-) シートベルト信号出力（シエンタに取付の際は使用しません）

動作について

エンジン始動（ユニットの電源入）後、時速約10㎞/h以上になればロック制御します。走行後、シフトゲートレバーをＰ（パーキング）に入れるとアンロック制御します。アンロック制御はユニットがロック制御を行った後でないと開始されません。その他にも下記の機能があります。

１．ドア開検出機能
車速ロック時にドア開を検出した場合はドアを閉られるまで待ってロックします。また、約10㎞/hのロック条件成立速度以上でドアを開けると閉じた後に再びロックします。
２．エンストアンロック機能
走行中にエンストを検出するとアンロックします。但し、ユニットへの給電が途絶えた場合はアンロックされません。
３．エマージェンシー機能
ユニットの電源入時に車速が約3㎞/h以上であればエマージェンシーモードに移行し、アンロック制御します。エマージェンシーモードでは車速でのロック制御はされません。

取り付けに関する注意事項

ユニットの取り付けは電気知識のある方が行ってください。取り付けに問題があると車両火災や損傷を招く恐れがありますので十分注意して取り付けてください。取り付けの際は事前にバッテリーのマイナス端子を外しておいてください。当製品を取り付けることにより発生した損害に関して当方は一切責任を負いません。

取り付け方

殆どの配線はコンビネーションメーター裏のコネクタに接続しますので、コンビネーションメーター裏への取り付けを推奨します。配線の接続にはカー用品店などで手に入れることができる「ワンタッチコネクター（白色推奨）」が便利です。

まず、コンビネーションメーターを取り外します。メーターにはD44コネクタ(40極)とD45コネクタ(16極)が差し込まれていますので、そこにユニットの配線を接続します。配線の接続先は下記の通りです。

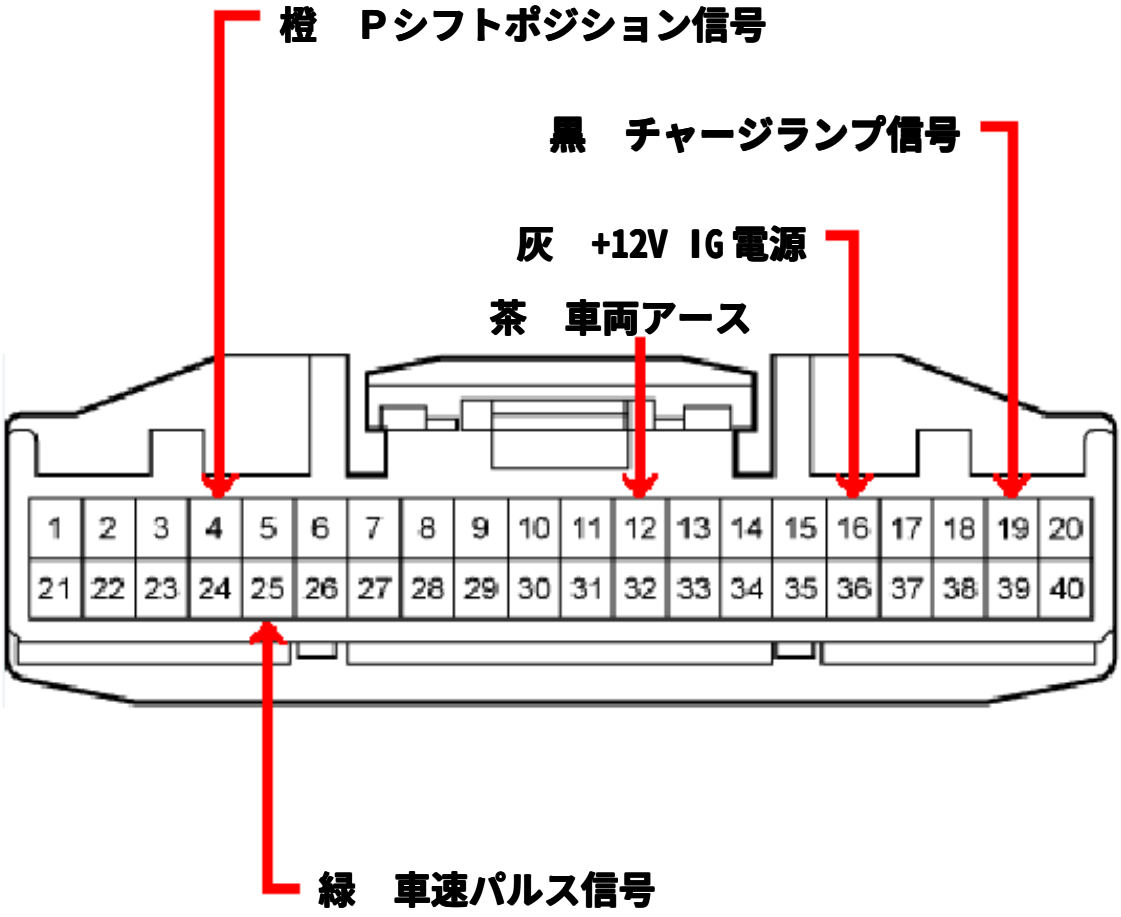
※次ページのコネクタ図にある配線色はメーターの配線色です。ユニットの配線色ではありませんので注意して接続してください。

車速感応ドアロックユニット		メーター裏のコネクタ
赤	.....	D44コネクタ 16番　灰
黒	.....	D44コネクタ 12番　茶
青	.....	D44コネクタ 19番　黒
桃	.....	D44コネクタ　4番　橙
茶	.....	D45コネクタ 16番　黄
白	.....	D44コネクタ 25番　緑

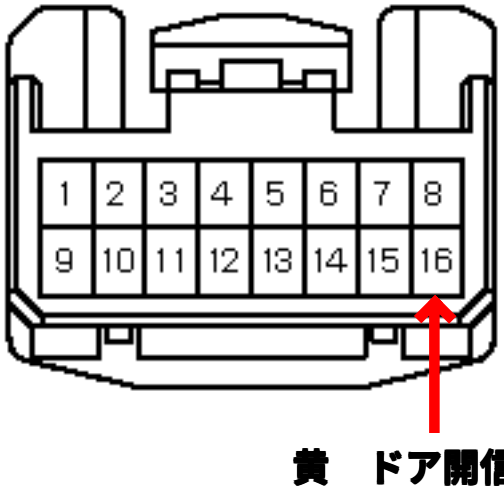
残り3本の配線のうち水色と緑は運転席足元のFD1コネクタへ接続しますので配線を取りまわした後、ユニット本体をビニールテープかタイラップ等で適当な場所に固定してメーターを元に戻します。

※灰色は未使用ですので短く切断してビニルテープを巻いて絶縁してください。
※ユニットをタイラップ等で固定する際は力を掛けすぎないでください。内部が損傷します。

D44コネクタ(40極)



D45コネクタ(16極)



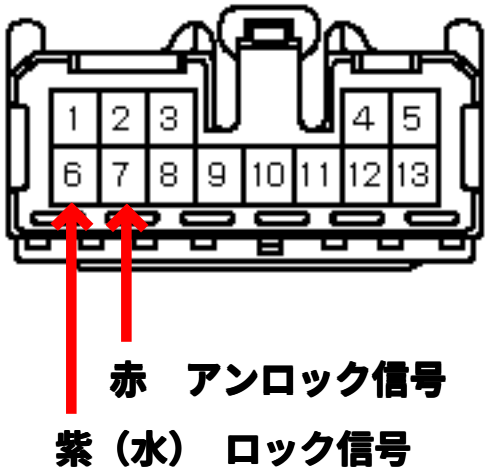
注意：ユニットの赤（IG電源）はメーターコネクタの赤／黒へ接続、ユニットの黒(GND)はメーターコネクタの茶へ接続します。この２本は特に注意して接続してください。

注意：車両側コネクタには同じ色の配線がある場合があります。間違い無い様に接続してください。

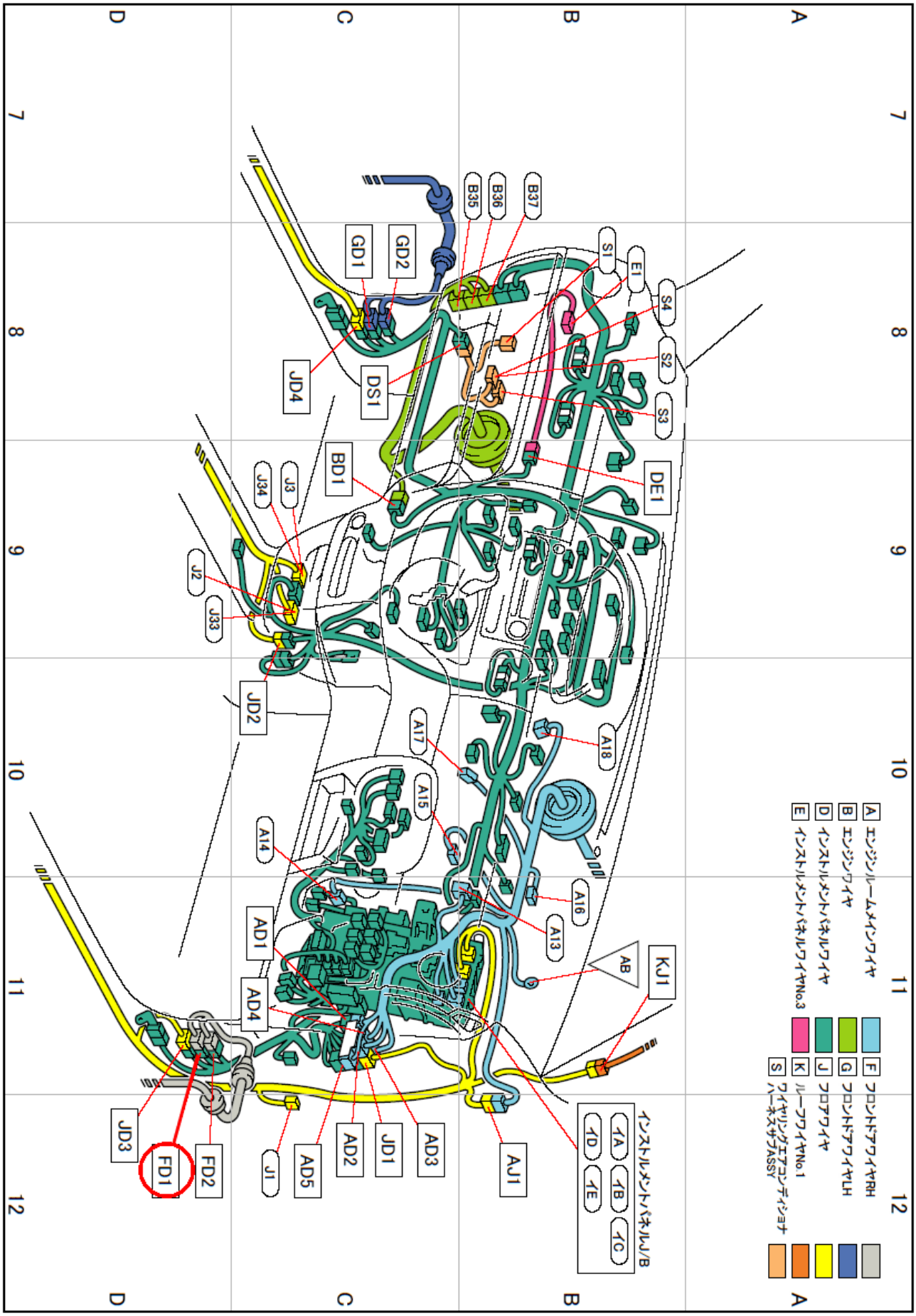
次にロック／アンロック線を接続する為に運転席足元にあるサイドトリムパネルを外します。ツメの勘合のみですので手で引っ張ると外すことが出来ます。

ユニットの水色と緑の配線はサイドトリムパネルを外した中にあるFD1コネクタ(13極)へ接続します。水色は7番　赤へ接続、 緑は6番　紫(車体側は水)へそれぞれ接続してください。

FD1 コネクタ(13 極)



FD1 コネクタの位置は儀装図を参考にしてください。



動作確認

　ユニットの取り付けが終わったら、全ての配線が正しく接続されていることを確認し、**コンビネーションメーターを元に戻して**ください。確認が終了したらエンジンを始動し、全ての計器が正しく動作しているか確認してください。問題なければ走行し、約10㎞/hでドアロックが作動するか確認してください。また走行後にパーキングレバーをＰポジションにしたときにアンロックするかどうか確認してください。

トラブルシューティング

ロック／アンロックしない

　全く動作しない場合は電源が正しく取れていないか、車速パルスが正しく接続されていない場合が多いと思います。赤・黒・白線を重点的に確認してください。問題がなければ、ロック／アンロック線（緑／水色線）の接続を確認してください。※シエンタではコンビネーションメーターのコネクタが接続されていないと車速パルスが出力されませんので、コンビネーションメータを取り外した状態では動作しません。

ロックしないがアンロックはする（またはその逆）

　ロック配線かアンロック配線に問題があると思います。緑と水色線の接続を確認してください。

ロックとアンロックの動作が逆になる

　ロック配線とアンロック配線が逆になっていますので入れ替えてください。

取り付け後にパワーウインドウが動作しない

　パワーウインドウ回路がリセットされていますのでポルテの取扱説明書を参考にしてパワーウインドウの設定を行ってください。※バッテリーのマイナス端子を外して作業した方は全てのドアのパワーウインドウの設定を行ってください。